

# 市内経営動向調査

平成29年10月～12月期（第3四半期）

- ① 調査の時期 平成30年1月      ② 調査の期間 平成29年10月～12月  
③ 調査対象企業 280社      ④ 回収状況 144社（回答率51.4%）  
⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、  
業界の景況感、前年同期比売上動向（H28.10月～12月）、前年同期比採算動向  
（H28.10月～12月）を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

## 【総括】

### ○全業種

全業種では、全ての調査項目において、DI値の改善がみられた。  
これまで熊本震災以降の落ち込みから緩やかに回復基調にあったが、今回特に製造業の改善が顕著に見られ、全業種の改善を牽引する動きとなり、震災前の水準まで持ち直した結果となった。そのような中、サービス業では一部DI値が悪化した項目もあり、要因としてインバウンドの減少を問題視する声も寄せられた。全国的には、インバウンドを含めた今後の観光需要拡大を見通す声があることから、外部環境の変化に期待したい。  
また、経営上の問題点としては、依然として人手不足（人材採用の難航含む）や原材料費の高騰を問題とする声が多く寄せられていることから、企業の利益確保を課題とする姿勢も窺え、各社生産性の向上が求められる。  
全国的には、輸出や設備投資の堅調な推移、消費の持ち直しに期待感が窺える。一方で、人件費の上昇や受注機会の損失など深刻な人手不足の影響や原材料費・燃料費・運送費の上昇、コスト増加分の販売価格への転嫁遅れを懸念する声も多く、先行きに慎重な見方が残る。

### ○佐世保市内の景況感

DI値は、建設業、製造業、卸・小売業において改善したものの、サービス業において悪化した。  
建設業では、▲16.6（前回比+3.0ポイント）と僅かであるが改善が見られ、他の業種と比較して高水準を維持している。前回直近10年間の調査で最も高い数値であった製造業では、▲9.6（前回比+5.2ポイント）と業界の景況感に比例して改善し、全業種の中で最も高い数値となった。

### ○市内業界の景況感

DI値は、建設業、製造業、卸・小売業において改善したものの、サービス業において悪化した。  
製造業では、『悪い』と回答した企業が13.9%減少し、▲9.7（前回比+12.5ポイント）と2期連続で大きく改善の動きとなった。他の業種と比較して低い数値が続く卸・小売業では、▲37.5（前回比+1.6ポイント）と僅かであるが5期連続で改善の動きが続いており、緩やかな回復基調にある。

### ○前年同期比の売上動向









































DI値は、全ての業種において改善した。  
佐世保の景況感で改善の動きが見られた製造業では、『減少』『やや減少』と回答した企業が17.2%減少し、19.4（前回比+19.4ポイント）と2期連続で大きく改善し、直近10年間の調査で最も高い数値となった。建設業では、0（前回比+9.8ポイント）と3期連続で改善の動きが見られ、震災前の水準まで回復した。

### ○前年同期比の採算動向

DI値は、建設業、製造業、卸・小売業において改善したものの、サービス業において悪化した。  
依然として、人手不足の影響拡大による労務費の上昇や原材料費の高騰を指摘する声が寄せられた。全国的にもこれらの要因が足かせとなる中、先行きは懸念材料が多く、慎重な見方が残る。

①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
<b>全業種 DI値 ▲ 20.3</b>				<b>全業種 DI値 ▲ 23.7</b>				<b>全業種 DI値 ▲ 3.4</b>				<b>全業種 ▲ 10.1</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	1	0.69%	0.7	1.増加	5	3.47%	3.5	1.好転	3	2.14%	2.1
2.良い	5	3.50%	3.5	2.良い	8	5.56%	5.5	2.やや増加	32	22.22%	22.2	2.やや好転	22	15.71%	15.7
3.普通	104	72.73%	72.7	3.普通	92	63.89%	63.9	3.変わらない	65	45.14%	45.2	3.変わらない	76	54.29%	54.3
4.悪い	32	22.38%	22.4	4.悪い	41	28.47%	28.5	4.やや減少	28	19.44%	19.4	4.やや悪化	28	20.00%	20.0
5.大変悪い	2	1.40%	1.4	5.大変悪い	2	1.39%	1.4	5.減少	14	9.72%	9.7	5.悪化	11	7.86%	7.9
<b>建設業 DI値 ▲ 16.6</b>				<b>建設業 DI値 ▲ 16.6</b>				<b>建設業 DI値 0.0</b>				<b>建設業 DI値 0.0</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	2.38%	2.4	2.良い	2	4.76%	4.8	2.やや増加	10	23.81%	23.8	2.やや好転	5	12.50%	12.5
3.普通	33	78.57%	78.6	3.普通	31	73.81%	73.8	3.変わらない	22	52.38%	52.4	3.変わらない	30	75.00%	75.0
4.悪い	8	19.05%	19.0	4.悪い	9	21.43%	21.4	4.やや減少	5	11.90%	11.9	4.やや悪化	2	5.00%	5.0
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	5	11.90%	11.9	5.悪化	3	7.50%	7.5
<b>製造業 DI値 ▲ 9.6</b>				<b>製造業 DI値 ▲ 9.7</b>				<b>製造業 DI値 19.4</b>				<b>製造業 DI値 16.2</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	1	3.23%	3.2	1.増加	5	16.13%	16.1	1.好転	3	9.68%	9.7
2.良い	2	6.45%	6.5	2.良い	2	6.45%	6.5	2.やや増加	6	19.35%	19.4	2.やや好転	7	22.58%	22.6
3.普通	24	77.42%	77.4	3.普通	22	70.97%	70.9	3.変わらない	15	48.39%	48.4	3.変わらない	16	51.61%	51.6
4.悪い	5	16.13%	16.1	4.悪い	6	19.35%	19.4	4.やや減少	4	12.90%	12.9	4.やや悪化	3	9.68%	9.7
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	1	3.23%	3.2	5.悪化	2	6.45%	6.4
<b>卸・小売業 DI値 ▲ 28.2</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 37.5</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 15.0</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 18.4</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	2	5.13%	5.1	2.良い	3	7.50%	7.5	2.やや増加	8	20.00%	20.0	2.やや好転	6	15.79%	15.8
3.普通	24	61.54%	61.6	3.普通	19	47.50%	47.5	3.変わらない	18	45.00%	45.0	3.変わらない	19	50.00%	50.0
4.悪い	11	28.21%	28.2	4.悪い	16	40.00%	40.0	4.やや減少	9	22.50%	22.5	4.やや悪化	10	26.32%	26.3
5.大変悪い	2	5.13%	5.1	5.大変悪い	2	5.00%	5.0	5.減少	5	12.50%	12.5	5.悪化	3	7.89%	7.9
<b>サービス業 DI値 ▲ 25.8</b>				<b>サービス業 DI値 ▲ 29.1</b>				<b>サービス業 DI値 ▲ 16.1</b>				<b>サービス業 DI値 ▲ 38.7</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	0	0.00%	0.0	2.良い	1	3.23%	3.2	2.やや増加	8	25.81%	25.8	2.やや好転	4	12.90%	12.9
3.普通	23	74.19%	74.2	3.普通	20	64.52%	64.5	3.変わらない	10	32.26%	32.3	3.変わらない	11	35.48%	35.5
4.悪い	8	25.81%	25.8	4.悪い	10	32.26%	32.3	4.やや減少	10	32.26%	32.3	4.やや悪化	13	41.94%	41.9
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	3	9.68%	9.6	5.悪化	3	9.68%	9.7

市内経営動向調査 平成 29 年度第 3 四半期（平成 29 年 10 月～12 月）D I 景況感 ※DI 値は平成 29 年第 2 四半期（平成 29 年 7 月～9 月）と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI ▲22.3 ⇒ ▲20.3 ↗  ⇒  ↑	DI ▲26.5 ⇒ ▲23.7 ↗  ⇒  ↑	DI ▲13.6 ⇒ ▲3.4 ↗  ⇒  ↑	DI ▲21.5 ⇒ ▲10.1 ↗  ⇒  ↑
建設業	DI ▲19.6 ⇒ ▲16.6 ↗  ⇒  ↑	DI ▲17.0 ⇒ ▲16.6 ↗  ⇒  ↑	DI ▲9.8 ⇒ 0.0 ↗  ⇒  ↑	DI ▲12.1 ⇒ 0.0 ↗  ⇒  ↑
製造業	DI ▲14.8 ⇒ ▲9.6 ↗  ⇒  ↑	DI ▲22.2 ⇒ ▲9.7 ↗  ⇒  ↑	DI 0.0 ⇒ 19.4 ↗  ⇒  ↑	DI ▲11.1 ⇒ 16.2 ↗  ⇒  ↑
卸・小売業	DI ▲32.5 ⇒ ▲28.2 ↗  ⇒  ↑	DI ▲39.1 ⇒ ▲37.5 ↗  ⇒  ↑	DI ▲19.5 ⇒ ▲15.0 ↗  ⇒  ↑	DI ▲30.0 ⇒ ▲18.4 ↗  ⇒  ↑
サービス業	DI ▲19.3 ⇒ ▲25.8 ↗  ⇒  ↓	DI ▲25.8 ⇒ ▲29.1 ↗  ⇒  ↓	DI ▲22.6 ⇒ ▲16.1 ↗  ⇒  ↑	DI ▲32.2 ⇒ ▲38.7 ↗  ⇒  ↓



DI100～81



DI80～41



DI40～11



DI10～▲10



DI▲11～▲40

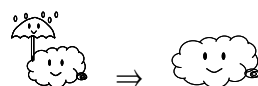


DI▲41～▲80



DI▲81～▲100

DI ▲30.0⇒▲10.0 ↗ (平成 21 年度第 1 四半期～平成 29 年度第 3 四半期の傾向)



↑ (平成 29 年度第 2 四半期と平成 29 年度第 3 四半期との比較)

## 【概 況】

(全業種) ※ ( ) 内は前回調査値

### ① 市内の景況感について

「大変良い」0% (0%)、「良い」3.5% (3.6%)、「普通」72.7% (70.5%)、「悪い」22.4% (23.0%)、「大変悪い」1.4% (2.9%) となり、DIは▲20.3 (▲22.3) と2.0ポイント改善した。業種別DIでは、建設業、製造業、卸・小売業でプラスに作用し、サービス業ではマイナスに作用した。

### ② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」0.7% (0%)、「良い」5.5% (6.4%)、「普通」63.9% (60.7%)、「悪い」28.5% (29.3%)、「大変悪い」1.4% (3.6%) となり、DIは▲23.7 (▲26.5) と2.8ポイント改善した。業種別DIでは、建設業、製造業、卸・小売業でプラスに作用し、サービス業ではマイナスに作用した。

### ③ 前年同期（平成28年10月～12月）比の売上動向について

「増加」3.5% (2.8%)、「やや増加」22.2% (18.6%)、「変わらない」45.2% (43.6%)、「やや減少」19.4% (23.6%)、「減少」9.7% (11.4%) となり、DIは▲3.4 (▲13.6) と10.2ポイント改善した。業種別DIでは、全ての業種でプラスに作用した。

### ④ 前年同期（平成28年10月～12月）比の採算動向について

「好転」2.1% (2.2%)、「やや好転」15.7% (10.8%)、「変わらない」54.3% (52.5%)、「やや悪化」20.0% (29.5%)、「悪化」7.9% (5.0%) となり、DIは▲10.1 (▲21.5) と11.4ポイント改善した。業種別DIでは、建設業、製造業、卸・小売業でプラスに作用し、サービス業ではマイナスに作用した。

《業種別概況》 ※（ ）内は前回調査値

**(建設業)** 回答：78社中42社、回答率53.8%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.4% (2.4%)、「普通」78.6% (75.6%)、「悪い」19.0% (17.1%)、「大変悪い」0% (4.9%) となり、DIは▲16.6 (▲19.6) と3.0ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」4.8% (9.8%)、「普通」73.8% (63.4%)、「悪い」21.4% (19.5%)、「大変悪い」0% (7.3%) となり、DIは▲16.6 (▲17.0) と0.4ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (2.4%)、「やや増加」23.8% (17.1%)、「変わらない」52.4% (51.2%)、「やや減少」11.9% (17.1%)、「減少」11.9% (12.2%) となり、DIは0 (▲9.8) と9.8ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (4.9%)、「やや好転」12.5% (9.8%)、「変わらない」75.0% (58.5%)、「やや悪化」5.0% (21.9%)、「悪化」7.5% (4.9%) となり、DIは0 (▲12.1) と12.1ポイント改善した。

#### 《主な自由意見》

##### ○昨年同期の売上動向

好転要因では、公共工事を含む受注の増加や受注金額の増加、大型工事の受注などの回答があった。  
悪化要因では、公共工事を含む受注数の減少や民間の設備投資減少などの回答があった。

##### ○昨年同期の採算動向

好転要因では、売上増加や経費削減、採算性の向上などの回答があった。  
悪化要因では、受注の減少や利益率の低下などの回答があった。

##### ○経営上の問題

人材不足（若年者・技術者）や人材育成、受注減少、労務単価の上昇を問題視する声が寄せられた。  
また建設業界の働き方改革（土日出勤等の減少）を求める意見が寄せられた。

**(製造業) 回答：64社中31社、回答率48.4%**

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」6.5% (3.7%)、「普通」77.4% (77.8%)、「悪い」16.1% (18.5%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲9.6 (▲14.8) と5.2ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」3.2% (0%)、「良い」6.5% (11.1%)、「普通」70.9% (55.6%)、「悪い」19.4% (33.3%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲9.7 (▲22.2) と12.5ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」16.1% (11.1%)、「やや増加」19.4% (22.2%)、「変わらない」48.4% (33.4%)、「やや減少」12.9% (22.2%)、「減少」3.2% (11.1%) となり、DIは19.4 (0) と19.4ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」9.7% (3.7%)、「やや好転」22.6% (18.5%)、「変わらない」51.6% (44.5%)、「やや悪化」9.7% (29.6%)、「悪化」6.4% (3.7%) となり、DIは16.2 (▲11.1) と27.3ポイント改善した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上動向

好転要因では、受注の増加や生産性の向上、販売単価の上昇、選挙特需などの回答があった。  
悪化要因では、受注の減少や値上げの影響などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、出荷量増加や生産性の向上、為替の安定、販売単価の上昇などの回答があった。  
悪化要因では、原材料の値上がりや経費の増加、商品品質の低下などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や原材料の高騰、受注案件の減少、若者の食生活（魚離れ）を問題視する声が寄せられた。

**(卸・小売業) 回答：73社中40社、回答率54.8%**

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」5.1% (2.5%)、「普通」61.6% (62.5%)、「悪い」28.2% (30.0%)、「大変悪い」5.1% (5.0%) となり、DIは▲28.2 (▲32.5) と4.3ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」7.5% (2.4%)、「普通」47.5% (56.1%)、「悪い」40.0% (36.6%)、「大変悪い」5.0% (4.9%) となり、DIは▲37.5 (▲39.1) と1.6ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (0%)、「やや増加」20.0% (19.5%)、「変わらない」45.0% (41.5%)、「やや減少」22.5% (26.8%)、「減少」12.5% (12.2%) となり、DIは▲15.0 (▲19.5) と4.5ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」15.8% (7.5%)、「変わらない」50.0% (55.0%)、「やや悪化」26.3% (30.0%)、「悪化」7.9% (7.5%) となり、DIは▲18.4 (▲30.0) と11.6ポイント改善した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上

好転要因では、営業の強化や販路拡大、商品陳列の変更、商品値上げの効果などの回答があった。  
悪化要因では、インバウンドによる購入の減少や少子化、商品単価の減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、売上増加や人件費の削減などの回答があった。  
悪化要因では、売上減少や原材料の高騰、人件費の増加、適正な値上げができていないためなどの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や人材育成、社員高齢化、資金繰り、人件費・運送料等の増加を問題視する声が寄せられた。

(サービス業) 回答：65社中31社、回答率47.7%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (6.5%)、「普通」74.2% (67.7%)、「悪い」25.8% (25.8%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲25.8 (▲19.3) と6.5ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」3.2% (3.2%)、「普通」64.5% (67.8%)、「悪い」32.3% (29.0%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲29.1 (▲25.8) と3.3ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (0%)、「やや増加」25.8% (16.1%)、「変わらない」32.3% (45.2%)、「やや減少」32.3% (29.0%)、「減少」9.6% (9.7%) となり、DIは▲16.1 (▲22.6) と6.5ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」12.9% (9.7%)、「変わらない」35.5% (48.4%)、「やや悪化」41.9% (38.7%)、「悪化」9.7% (3.2%) となり、DIは▲38.7 (▲32.2) と6.5ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、利用客の増加や価格の値上げなどの回答があった。

悪化要因では、利用客の減少や取引量の減少、インバウンドの減少、個人消費の低迷などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、売上増加や経費節約などの回答があった。

悪化要因では、売上減少や原材料費の高騰、人件費・燃料費・修繕費等の増加などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や燃料費の増加、人口減少などを問題視する声が寄せられた。

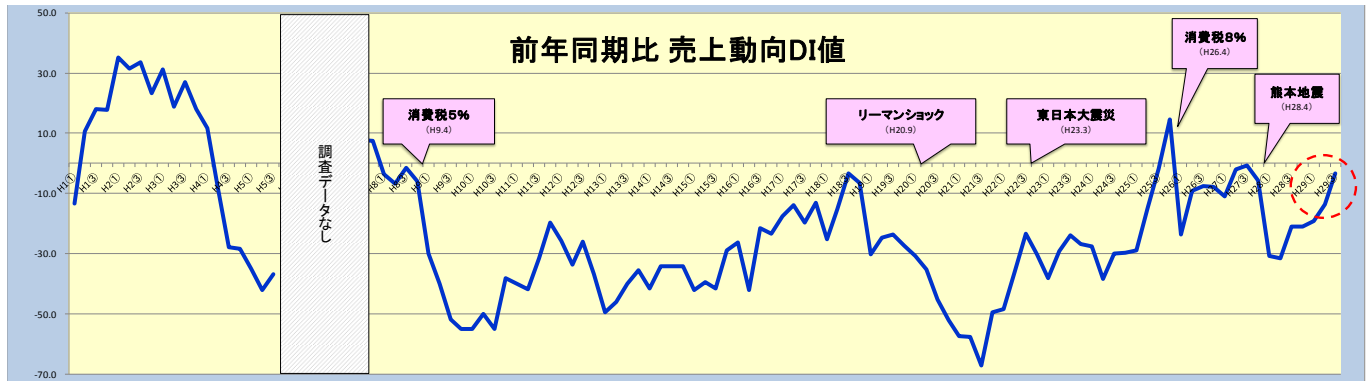
また消費増税を懸念する声が寄せられた。

以上



平成 29 年度第 3 四半期 経営動向調査表

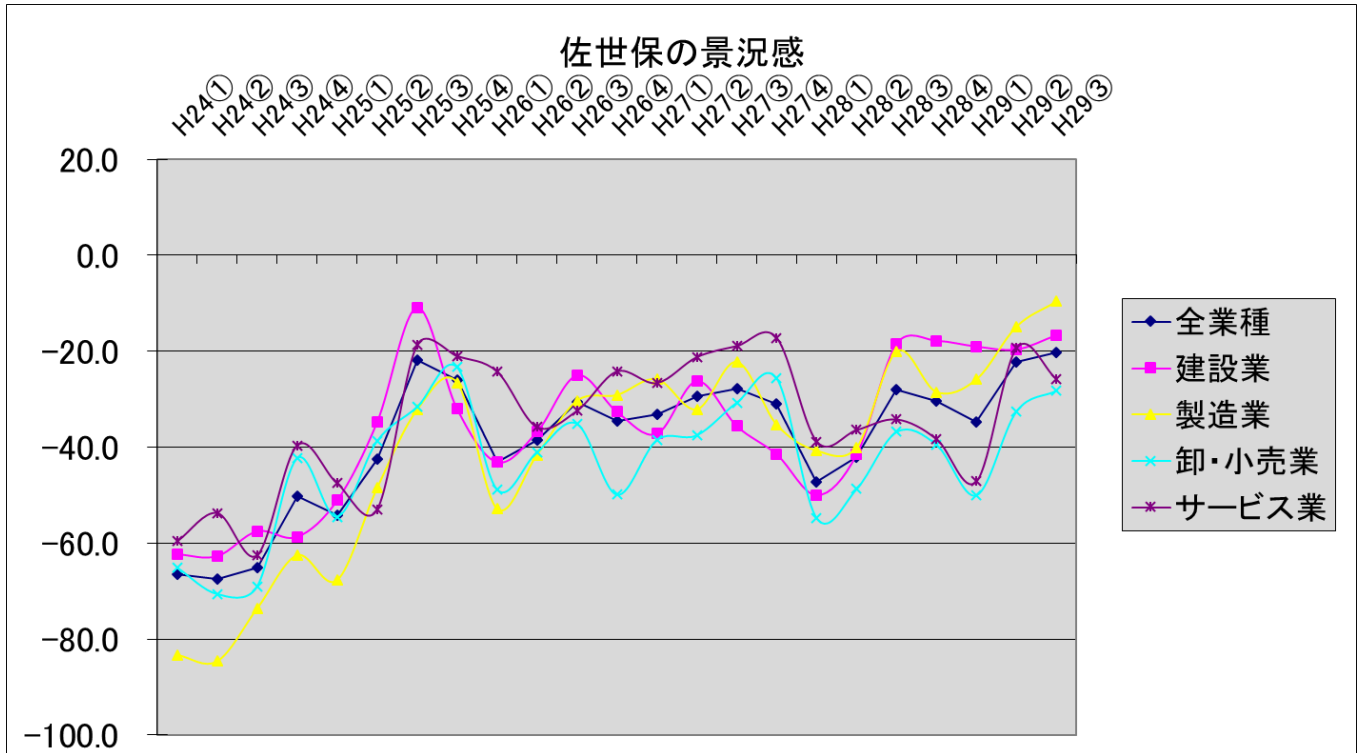
図表 1 - 1 【前年同期比売上動向DI値の推移（平成元年～）】



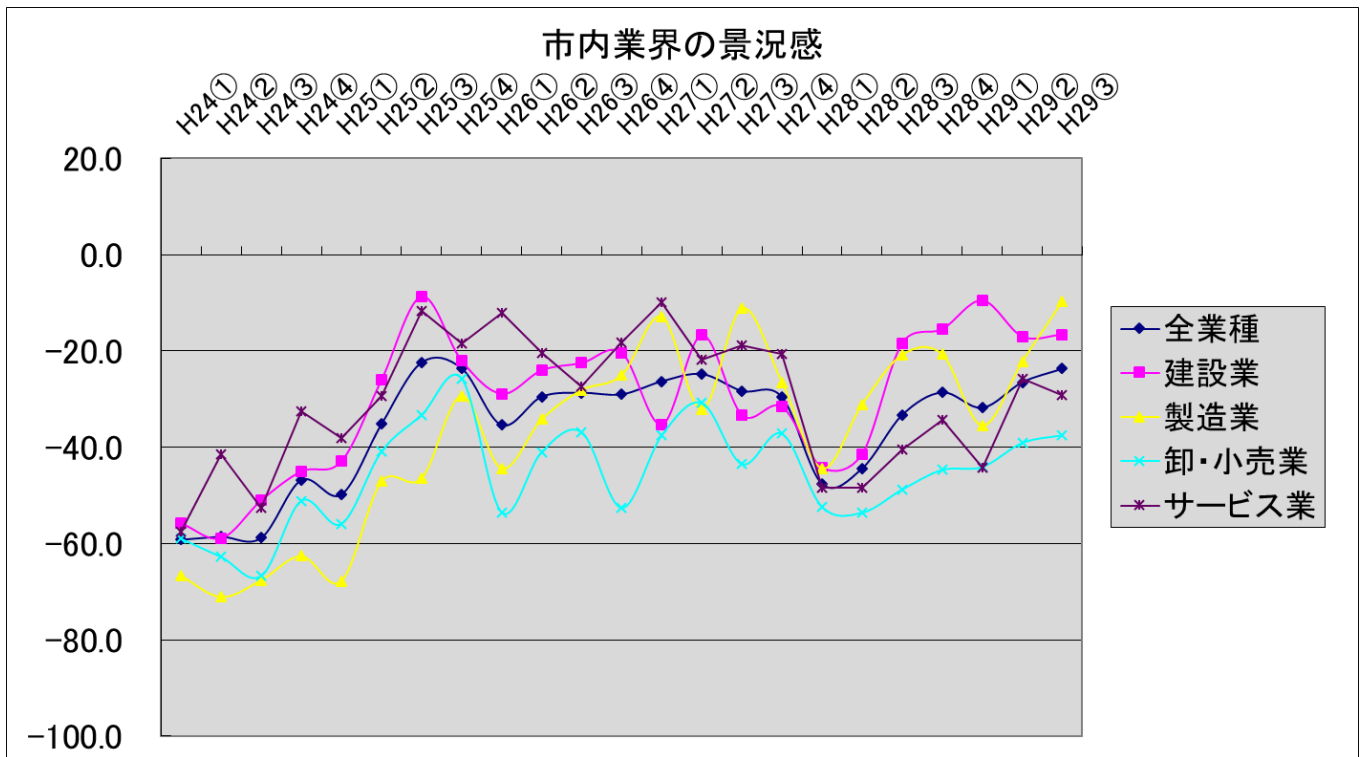
図表 1 - 2 【全業種DI値の推移（平成 21 年～）】



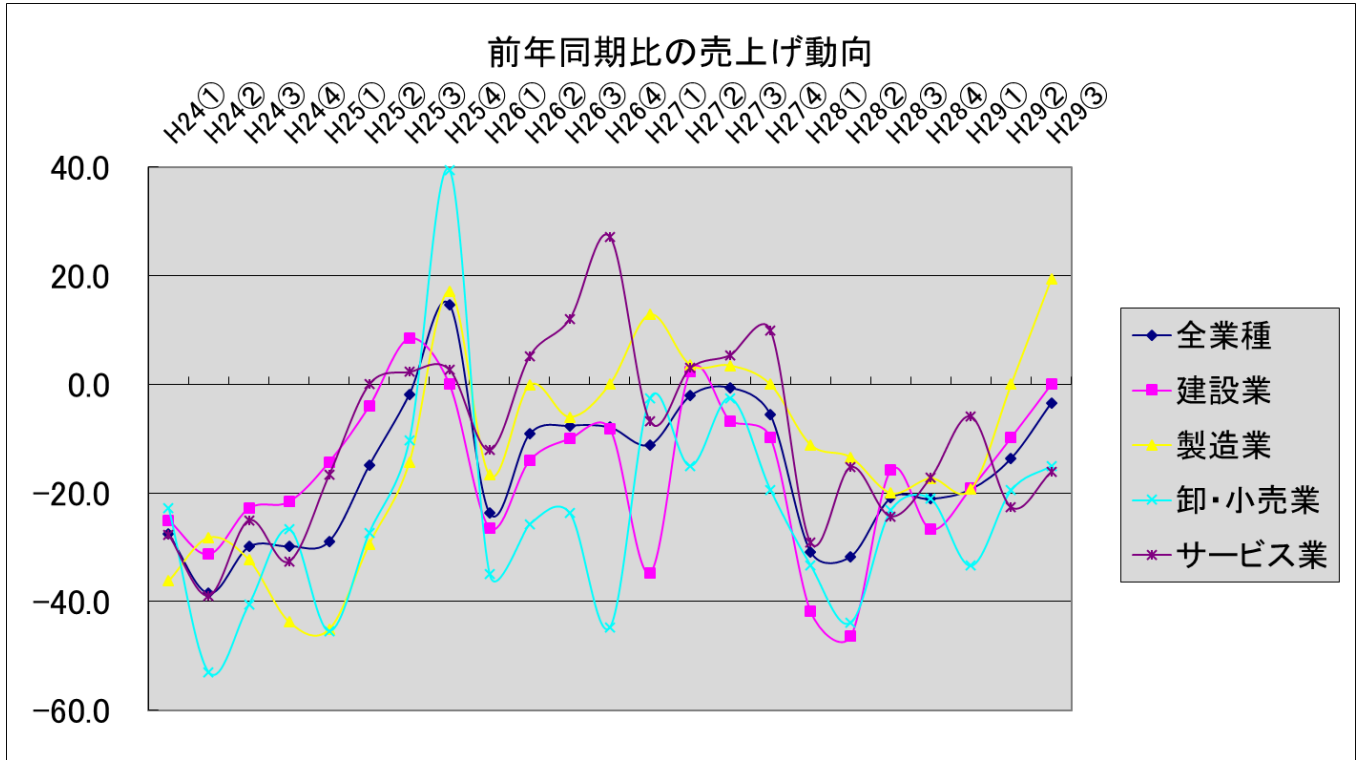
図表 1 - 3 【佐世保の景況感の推移（平成 24 年～）】



図表 1 - 4 【市内業界の景況感の推移（平成 24 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 24 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 24 年～）】

